

。。。 自主研究「公募型」公募のご案内 。。。

交通工学研究会（以下、JSTE）では、公益事業の一環として自主研究を行っています。このたび、平成 23 年度から始める「公募型」の自主研究テーマを公募します。会員の皆様におかれましては、本制度の趣旨をご理解いただき、募集要項をご参照の上、積極的な応募をして頂きますようお願い申し上げます。

自主研究公募制度の趣旨

自主研究とは、JSTE が会員の協力のもとで「自主的」に取り組む研究です。自主研究テーマの公募制度は、自主研究に広く会員の参画を募ることで、JSTE における研究活動のさらなる活性化を図るものであり、科学研究費補助金のような、いわゆる研究費配分を主目的とする研究助成制度ではありません。

自主研究の意義は次の 3 点が挙げられます。

① 産学官の連携した研究体制構築のための支援を期待できる

JSTE の会員は、道路交通工学／技術を中心分野とする実務者や研究者で構成されています。こうした人たちと研究の協力体制を組むことができます。

② 研究成果の還元のための支援が受けられる

JSTE を通じた出版や、セミナーの開催といった研究成果の還元ができます。

③ 事務局のサポートが得られる

委員会などを編成して研究を行う際の、会議場所の貸与、開催案内といった仕事を JSTE 事務局がサポートします。

昨年度は制度変更検討のため公募を行いませんでしたが、本年度はその枠組みを再検討したうえで公募を再開します。以下が具体的な変更点です。

自主研究を「展開型」と「公募型」に分類します。

- ▶ 「展開型」は、重要な研究課題の展開を効果的にすすめることを目的とし、会員が主体となってすすめることを前提としたものです。「展開型」研究は随時受け付けします。「展開型」研究の提案方法については、事務局までお問い合わせください。
- ▶ 「公募型」は、従来と同様に、会員の皆様からの提案に基づき研究委員会で採択可否を審議するものです。年 1 回の募集とします。この案内は「公募型」研究のもです。

「応募」にあたっては、研究目標・研究計画・研究組織を固めた上で応募して頂く一般的なスタイル（応募形態：一般）のみならず、研究の意義や重要性・必要性の提起を主旨として、組織体制や実施計画は採択後に研究会事務局の協力のもとで整えることを前提とした研究提案（応募形態：提案）も歓迎します。

「申請」にあたっては、できるだけ具体的な成果目標を設定し、戦略的な応募をお願いします。研究期間は原則 3 年を上限とします。

「採択」にあたっては、厳正な審議に基づき、JSTE が持つ上記①～③の特長を最大限に活かし、産学官の連携を目指す研究を優先的に採択します。ただし、必ずしも産学官の 3 つが揃っている必要はありません。『JSTE の支援下で実施するから有用な成果が期待できる研究』、『交通工学関連分野の産業創出に結びつく研究』といった観点を重視します。また、実務者が主導する研究も歓迎します。この自主研究で得られた成果が、JSTE の刊行物、セミナー、講習会に結びつくことを期待しております。採択後には、研究進捗報告、終了後に成果報告をして頂くと共に、継続的に研究評価を行います。

その他、応募にあたっては、「自主研究募集要項」と、「応募・提案様式（記入の手引付）」をご覧ください。皆様からの積極的なご提案をお待ちしております。

自主研究「公募型」募集要項



1. 応募資格：申請代表者は、交通工学研究会(JSTE)の会員に限る
2. 研究予算：原則として、研究活動に使用可能な予算は措置しません。ただし、交通工学の会議室の使用や開催案内の送付といった事務局のサポートなどで間接的に研究遂行の支援を行います。採択予定数は上限3件程度。
3. 研究期間：原則3年以内（研究の開始時期は4月、終了時期は3月とします。）
4. 応募方法：(1)応募・提案様式に記入して郵送・FAX、(2)応募・提案様式電子ファイルに記入して E-mail 添付で送付、のいずれかとします。[様式入手 URL・送付先等は、応募・提案様式を参照]
5. 応募期限：平成 23 年 2 月 14 日(月) 郵送必着/FAX・E-mail は 17 時厳守
6. 審査・採択：応募内容にもとづいて研究委員会にて審議後採択決定(3月中旬応募者へ通知予定)
7. 研究報告と評価（状況により変更の可能性があります）
 - 1) 研究進捗報告
 - ア) 交通工学研究発表会におけるパネル展示による報告
各研究グループに対し B1 サイズのパネルを 1 枚用意しますので、期間中に展示して頂きます(1 年計画のテーマの場合も含む)。またコーヒープレーク時に説明員の配置をお願いします。
 - イ) 年度末における簡便な報告
当該年度の活動内容と次年度の活動計画をそれぞれ 500 字程度にまとめて電子媒体で提出していただきます。
 - 2) 研究終了報告
 - ア) 最終年度の年度末における簡便な報告
最終年度の活動内容を 500 字程度にまとめて電子媒体で提出していただきます。
 - イ) 研究成果の機関誌「交通工学」への終了報告掲載
3 月の研究終了後、5 月までに 4 ページの原稿を作成し電子媒体で提出していただきます。提出された原稿は7月号または 10 月号の機関誌「交通工学」に掲載いたします。
 - ウ) 交通工学研究発表会における口頭発表
次年度の交通工学研究発表会(例年秋開催)において時間が割り当てられますので、研究成果を口頭報告していただきます。発表時間はその年の報告件数により異なりますが、概ね 10～15 分程度です。
 - 3) 評価
以上のような報告を通じて、自主研究小委員会にて研究の進捗状況を逐次確認・評価いたします。そして、必要に応じて、自主研究小委員会より各研究代表者に研究方針について連絡申し上げます。あわせて、以上の各種報告を通じて、研究の成果が会員の皆様の耳目にふれることをもって評価がなされるものいたします。

【問い合わせ先】 社団法人 交通工学研究会 担当 藤枝 TEL:03-6410-8717

Japan Society of Traffic Engineers

平成 23 年度 自主研究 応募様式

応募形態 [選択してください]	一般 ・ 提案	研究期間 [最大 3 年]	年
1. 申請代表者		申請代表者があらかじめ研究組織を編成して研究代表者(または共同研究者)として研究を推進する形態だけでなく、研究推進体制が未定な研究提案として応募する形態でも受け付けます。	
ふりがな 氏名	TEL/FAX	/	
会員番号	E-mail		
所属		職	
住所 (〒 -)			
研究課題名 [40 文字以内]			
2. 研究の目的と意義		本会の自主研究として取り組む意義(必要性・有用性・発展可能性など)を必ず明記してください。研究期間満了時までの具体的な目的・位置づけを記述してください。応募形態が「提案」の場合は、期限に関係なく研究の目的・意義を付した上で、可能な限り期限付きの研究提案としての位置づけを明確にしてください。300 字程度以内。	
3. 研究概要		研究期間満了までに行う研究の内容・方法を記述してください。また複数年度にまたがる研究計画の場合には、各年度の内容について箇条書きで予定を記述してください。応募形態が「提案」の場合は、今回の研究応募(3 年以内)の位置づけとその後の研究展開概略についても記述するようにしてください。全体で 700 字程度以内。	

<p>4. 研究成果目標</p>	<p>研究期間満了までに期待する成果（例えば、出版物・セミナー・報告提言書など）をできるだけ具体的に記述してください。またその成果の持つ意義・価値も分かりやすく簡潔に記述してください。200字程度以内。</p>
<p>5. 研究組織と組織構成理由</p>	<p>研究代表者と共同研究者の別(または委員会形式の場合は委員長と委員の別)を分けて書いてください。申請代表者があらかじめ研究組織に参加する方々の内諾を得てここに氏名・所属・職を列記する方法(組織としての研究応募)だけでなく、研究組織の構想提案(個人あるいは所属・立場別の構成人数程度)でも構いません。また、主要メンバーのみあらかじめ内諾を得て構成し、その他委員を広く公募する形態など、様々な組織形態の提案も受け付けます。また採択後に、研究委員会やJSTE事務局は、必要に応じて具体的な委員の人選や公募手続きを支援します。なお、必ず本提案の組織構成理由も簡単に記述してください。</p>
<p>6. 研究成果の公表方法</p>	<p>所定の研究期間が終了した後の、提案研究の公表方法（例えば、実用化実験を実施する、マニュアルや制度への反映、大型研究費取得など）を記述してください。</p>

※提出期限：平成23年2月14日(月) 郵送の場合は必着/FAX・Emailは17時厳守

本様式電子ファイル入手先 <http://www.jste.or.jp/> よりリンクをたどってください

提出方法： (1) 本様式(DM・雑誌の場合はA4に拡大コピー)に記入したものを下記へ郵送またはFAX送付
(2) 電子ファイル様式へ記入したものをメール添付にて下記へ送付
E-mailの「Subject(タイトル)」には、必ず「自主研究応募」と明記のこと

提出先： **【E-mail】kenkyu@jste.or.jp 【FAX】(03)－6410－8718**

【郵送】〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-23 錦町MKビル5F(社)交通工学研究会 研究委員会 宛